

人権教育だより

京丹後市立大宮中学校

令和元年7月1日

～自分も仲間も大切にできる思いやりの心を育てよう！～

No.4



2年生

人権学習を通して 考えたこと



大宮中学校では、1学期はいじめやSNSの問題などの身近なテーマについて、各学年で話し合いを通して学習しています。各学年の学びを紹介します。

2年生は資料を使って「決めつけ」や「思い込み」が、偏見や差別へと発展することを理解し、決めつけや思い込みによって人を判断するのではなく、その「ひと」を理解し、認め合おうという学習を進めました。

偏見というのは、偏った否定的な決めつけのことです。固定観念（ステレオタイプ）は、同じ型にはまったようなイメージのことです。例えば「男は勇敢である」「赤系の色のランドセルは女の子用だ」などです。このイメージに否定的な評価や感情が伴うと偏見になります。そして、その偏見が具体的な行動・行為となって発現したものが差別です。



この学習の後、事前アンケートから学級の課題を話し合い、学級として『いじめ対策～いま私たちにできること～五カ条』を策定しました。各学級の宣言と学習のまとめの文章を紹介します。



2年1組

○この学習で、私自身も偏見的な見方をしてしまっていることに気づ

きました。「この人は～みたいだなあ」みたいなことをよく思います。でも、それは偏見ということに気づくことができたので、今後こんな偏見をなくすために、私は人を見ただけで決めず、しっかりと相手と話してみようと思つたのではなく、相手のことをしっかりと理解できるようにしたいです。そして、個性を認め合えるようにしたいです。

○一番印象に残っているのは、DVD「聲の形」です。障害があるからいじめられるなんて、納得できる理由ではないし、「聲の形」を見て、改めて自分の中で“普通”の意味を考えました。決して自分にあるものが普通ではないし、自分にとって普通でも相手にとってそうでなかったら、それはもう“普通”にはなりません。それも偏見につながるものだと思います。だから、自分ひとりの見解で“普通”をつくらないようにしたいです。

いじめ対策～いま私たちにできること～五カ条

- 一、良い所は2倍で、悪い所は半分で見ろ。
- 二、物事を進める前に立ち止まって、良い事か悪い事か考える。
- 三、皆が主役になれるような行動をする。
- 四、誰とでも関わるために手伝ったり積極的に誰とでも話す。
- 五、積極的に友達の良い所を見つける。

2年2組

いじめ対策～いま私たちにできること～五ヶ条

- 一 一人一人の個性を大切に
- 二 相手の気持ちを考えよう
- 三 行動する前に一息つく、くせをつけよう
- 四 自分の良心と向き合おう
- 五 自分や人の良いところを見つけよう

○世界にはいろいろな差別があるが、一人ひとりが自分とは異なるものを受け入れられたら、差別はなくなると思う。例えば、自分とは考え方が全く違う人がいたとする。そしてその人の良さは見ようとせず、マイナスの部分ばかりを見れば、や

がてその人のイメージは否定的なものへと変わってくる。そのイメージを思い込みで好き勝手に広げ、一時の感情で行動を起こしてしまうと、小さなきっかけから差別へとつながる。しかし、それはあってはならないことだ。それを起こさないためにも、固定された自分自身のイメージだけにとらわれず、広い視野を持って人と接することが大切だと思う。また、いじめも起こしてはならない。いじめは殺人にもなりうる。自分の思う以上に、その人が負う傷は深いかもしれない。それをしっかりと考えて行動しようと思う。



○私は今日の授業で、お互いの個性を認め合うことの大切さを改めて感じました。私だけでなく、他の人も「個性」という言葉を使った「いじめ対策 五ヶ条」を考えていたので、みんな同じような考え方をしているんだと思いました。

クラスのアンケート結果では、「自分には良いところがない」と自分に自信を持っていない人がいたので、それが誰かは分からないけど、私は友達の良いところをたくさん見つけられるようにしたいです。

また、自分の良いところや個性も見つけて、悪いところがあっても向き合っていきたいです。

2年3組

いじめ対策～いま私たちにできること～五ヶ条

- 一 「ありがとう」「ごめんね」が素直に言い合えること！
- 二 みんなのことを知ろう。思いやりをもて押し広い視野で平等に見る！
- 三 仲間の個性や自分自身のことと認めること！
- 四 仲間の気持ちを考えてお互いのことを認め合う！
- 五 勝手に決めつずに良い所を見る！

○私はこの人権学習を終えて、始まる前とだいぶ考え方が変わりました。「いじめ」について目をそむけていた自分を変え、深くみんなで考えることができました。

「いじめなんて、どうせなくなる」「むだなことだ」ではなく、「なくなる理由は何か」「どうしたらなくなるか」「もし、起こったらどうするか」ということを考えるのが大切なんだと、改めて気づきました。人権学習が終わっても、これからずっと今回学んだことを忘れないようにしていきたいです。そして、この世から少しでも辛い思いをする人がなくなるよう、日頃から自分の行動に気をつけたり、誰かのために頑張ったり、自分のために頑張ったりできる人になりたいと思いました。

○僕はいじめは絶対にだめだと思う。だから人の気持ちを考えて行動できるようにしたい。このことを言ったら相手はどう思うのか、自分がもし言われたら嫌かということを考えていきたい。自分がやってほしくないことを、他の人にやるのはだめだから、相手の気持ちを考えられる人になりたい。

「偏見や差別を生まない力を磨こう！」

